主イエスよ、来てください

２０２６年１１月１日

ヨハネの黙示録　２２章１６～２１節

序：終末論（2025年9月28日～本日2026年11月1日）ヨハネの黙示録22章16~21節 最終回

Ⅰ．イエスの証し　　１６節
　イエス　⇨　御使い　⇨　あなたがた
　⑴諸教会について（ペンテコステ～携挙＝キリストの空中再臨）

　⑵イエスの自己証言
　　ダビデの根（先祖）
　　ダビデの子孫
　　輝く明けの明星　　ペテロⅡ　１・１９

Ⅱ．招きのことば　　１７節
　⑴「来てください」と言いなさい
　　御霊＋花嫁（教会）＋これを聞く者

　⑵渇く者は来なさい　　ヨハネ　４・１３～１５

　⑶いのちの水をただで受けなさい　　黙示　２１・６

「言いなさい」「来なさい」「受けなさい」：応答が求められる

Ⅲ．警告　　18～19節
　聖書（神のことば）±０
　⑴何かを付け加える　　聖書＋α
　　例：①ローマ・カトリック教会
　　α＝外典（正典に＋）、聖人伝承、教皇提示の教理
　　マリア無原罪懐胎説
　　教皇無謬説

　　②新興の異端
　　信者の個人の霊的体験、聖書解釈の絶対化

　⑵何かを取り除く　　聖書－α
　　例：①リベラルなキリスト教
　　α＝奇跡（処女降誕、復活、イエスのなさった御業）
　　教えの中でも人間の理性で納得できない部分　　を削除

　　人間の理性・経験　＞　聖書

　　②他の一神教（ユダヤ教、イスラム教など）
　　旧約聖書のみが聖書（新約聖書は拒絶）：ユダヤ教
　　聖書ではなく、コーランが教典

　　イエス・キリスト≠神・メシア　（三位一体の神否定）

(3)守らなければ刑罰
(1)には神がこの書（聖書、ヨハネの黙示録）に書かれている災害を加える

(2)には神がこの書に書かれている新しいエルサレムの祝福（いのちの木・聖なる都）を受ける分を除去する

Ⅳ．イエスの保証　20節
(1)「しかり、わたしはすぐに来る」
神と人間の時間の感覚は異なる　ペテロⅡ　３・８～１０

さばき主として再臨（空中再臨、地上再臨）

(2)「アーメン」主の約束とヨハネ（聖徒）の応答の間にある（両方にたいするアーメン）

(3)「主イエスよ、来てください」
１７節の命令に従う

Ⅴ．祝祷　21節
(1)主イエスの恵みがありますように
人間の能力や功績によらず
救いの初めも終わりも一貫しているのは主イエスの恵み
とかく高ぶりやすい者は繰り返し思い起こすべきこと

(2)すべての者とともにありますように
主を信じ、告白して、主とともに歩むすべての者（不信者は含まれない）

Ⅵ．結び
(1)これから起こること（終末における神のご計画）を主が私たちに啓示されたのは、ゴール（天の御国）に至るまで希望と確信とを持ち続けるためである

(2)それによって、この地上の旅路に必要なすべてのものが神によって提供されると知る。特に苦難の中での忍耐、慰め、愛、力など霊的なものと衣食住など物質的必要の全領域を網羅

(3)自分自身はもとより、他の未信の人々が主の救いにあずかれるよう、祈り、福音を証しし、主にある愛の業をもって仕えよう（∵天に携え行ける）

(4)永遠に神とともに住まう御国の祝福の約束を忘れず、必ず主が成就されることを待ち望みつつ、現実の生活の中で日々歩みを確かなものにしよう